

名古屋市議会・議員本会議質問ランキング

2013年1月15日

名古屋市民オンブズマン

1 はじめに

地方公共団体での税金の違法支出が問題とされる度、それを放置してきた議会のあり方に市民から疑問が提示されてきた。とりわけ、最近「改革派」を標榜する首長の誕生とともに、地方公共団体の議会と首長との関係が注目されるようになってきている。一方で、多額の政務調査費を支給している地方公共団体については、本会議で一度も質問をしていない議員にまで、費用を交付する必要があるか、という疑問が投げかけられることも珍しくない。地方公共団体の議会に対する注目度は上がってきている。

ところが、実際のところ、議員の活動は一般市民には見えにくい。ここ数年のうちに全国で住民訴訟が70数件も提起された政務調査費の支出については、数年前まで、領収証の開示を行っていた都道府県議会はほとんどなく、現在に至っても領収証以外の資料を開示する都道府県議会はごくわずかである。本会議での議決でも、多くの地方公共団体では首長部局が提出した予算案がそのまま可決される例がほとんどだ。議会出席が議員の本来の仕事だ、と私たちが思うにもかかわらず、議会の本会議を欠席する議員すらいる。私たちは疑問に思う一ほとんどの地方公共団体の議員は仕事らしい仕事をしていないのではないかと。

2 本会議に注目しよう

私たちの疑問に対し、議員から反論もある。代表的なものは、「議員の仕事は幅広い。本会議で質問したり、意見を述べるだけではない。むしろ住民の要望をきちんと聞いてこそ議員だ。」というものだろう。しかし、予算も条例もすべて本会議を経て成立する。地方自治法も本会議を原則公開とし（115条）、会議録の作成を義務づけている（123条）。いくつかの地方公共団体の議会では本会議での質疑を充実させるため、執行部との質問の事前調整を廃止したり、質問と回答をより明確にするために一問一答方式を導入したりしている。議会基本条例の制定も本会議の重要性を再認識したものといえよう。しかし、残念ながら、これらの制度を準備してもなお、私たち

から見て議員は本会議を軽視していると見ざるを得ないのが実情だ。政務調査費条例の改正に関する青森市や名古屋市の例はその最たるものだ。2012年8月、それまでは議員、会派の調査研究のために支出することだけが許されていた政務調査費に「その他の活動」への支出も許容する地方自治法の改正が議論らしい議論もないまま、行われた。調査研究以外への支出を許容する余地のある改正法には多くの市民が抗議するとともに、改正法を受けて地方公共団体が政務調査費条例をどのように改正するか注目があつまった。ところが、青森市や名古屋市では、市民の知らないまま改正案が作成され、本会議で議論らしい議論もないまま政務調査費条例が改正されてしまったのだ。これらの議会では、実際に政務調査費を巡る住民監査請求・住民訴訟が提起されている。市民の関心のある重要な案件であることを知りながら、市民に十分な議論をさせない方法で改正案を通してしまったことになる。しかし、このことが物語るように、本会議の軽視は議会での議論の透明性を著しく害する。議員にいかなる仕事があろうと、本会議を軽視する姿勢は市民に対する説明責任の放棄に他ならない。議員の本会議での質疑を対象として、この調査を行うことにした理由は本会議の充実が政策形成過程の透明性に直結するからなのだ。

3 調査の方法と基準

(1) 概要

調査は各議会の本会議の議事録を熟読し、個人質問の方法につき、①事前の調査をしているか、②他都市との比較をしているか、③改善案を提案しているか、の3つの観点からテーマ1件ごとに加点する方法で採点した。これに加えて、質問の内容の観点からも評価した。

調査は同一の議事録を複数のメンバーが熟読して評価することとし、一次評価結果を各議員個人に送付して意見を聴取し、意見を元に再検討をする方法によった。

(2) 質問方法に対する基準

①事前・現場調査(4点)

0点 全くしていない

1点 質問に特化した事前の調査をしている(「新聞テレビニュースで見た」、「議会で質問があった」というだけでは事前の調査と評価しない)

- 2点 質問に特化した事前の調査に加え、現場の調査をしている（現場調査をしたと同視できる程度に詳細な事前調査をした場合も含む）
- 3点 2+分析、評価もしている
- 4点 2+分析、評価のやり方が予算措置まで踏み込んでいるか、それと同視できる詳細な評価を行っている。

【説明】 質問のために質問者が特別の調査を行ったと議事録から見て取れるか、という視点からの評価である。言うまでもなく、内容のある質問をするためには、事前調査が不可欠だ。事前調査を疎かにしたままの質問は、担当者に聞けばわかることをわざわざ聞くなど、ムダな時間を費やすばかりだ。質問時間に制約のある現状の運用では、なおさらである。反対に、質問者が十分な調査のもと、予算措置についてまで検討した質問がなされれば、それだけでも説得力のある問題提起であり、議会による世論形成機能に資すると言える。

②他都市の比較(2点)

- 0点 全くやっていない
- 1点 やっている（結果だけ）
- 2点 担当者に会っている、または、会ってなくても他都市との違いを根拠まで踏み込んで具体的に行っている

【説明】 どのような内容を質問するにしても、他の都市の事例を検討して参考にすることは必要ではないだろうか。仮に他の都市で実施していない政策の提言をするに際しても、類似の事例や参考となる事例を検討することは有効であり、必要である。

③改善案(3点)

- 0点 全く無し
- 1点 問題点を具体的にしているか、何らかの改善案を提示している（単なる要望は改善案とは評価しない）
- 2点 具体的改善案が示されている
- 3点 予算措置まで踏み込んだ改善案が示されているか、それと同視できる程度の具体性・実現可能性のある改善案が示されている

【説明】 議会がチェック機能を果たすために最も重要な点である。この質問で質問者は一体何が言いたいのか、市民に伝わってくる形で問題を指摘できるよう準備と工夫をすることは、議員の基本的な

仕事ではないだろうか。問題点の指摘すらなされていない場合など、行政のチェックを果たしたことにはならない。また、単に要望を市当局に伝えるだけでは、真剣さが伝わってこないばかりか、世論も形成できない。

(3) 調査内容についての評価

質問内容についての評価もおこなった。本来の議会と執行部との緊張関係を維持するためには、議員が的確なテーマを選定することが必要だからである。すなわち、いくら詳細に事前調査をしたとしても、当該自治体の問題として取り上げるだけの必要性のないテーマについては、質問に立った議員自身、問題点の掘り下げも改善案の提示などもできる筈がない。抽象的な結論めいた意見の表明で終了する質問なども、テーマの選定がまずいことに起因することも多い。しかし、私たちが議員に期待するのは、自治体行政の問題点を鋭くえぐる視点の提示と市民の世論を形成するに足る対策の提示である。そういった観点から、質問のテーマの選定や質問方法がまずいとおもわれるものをパターン化し、A, B, Cで示した。

A：事前に関連資料を情報公開請求で入手するか、担当部署の職員に確認すれば足りる質問（今どうなっていますかはA）

【説明】事前調査が不十分な場合に起こる。テーマ選定からして勉強不足が明らかになっている。ただ、これと類似するものとして、当局から言質をとることが目的で行う質問もある。議会で答弁させることで、政策変更をさせないために行う、という手法は私たちも否定するものではない。したがって、議会で答弁させることを目的としたことが議事録上明らかなものについてはAとは評価しなかった。

B：当該課題（制度）の趣旨・意義、国と世論の動向、識者の指摘、市と所属会派の対応と現在までの経過等を解説し、それに質問者の抽象的私見を加え、当局の認識、所感、方針を問う質問

【説明】要するに、質問なのか、応援演説なのかわからないものを示す。首長の政策に賛成の議員がよく行うものだ。しかし、議会の使命が執行部の政策のチェックにある以上、批判できないテーマを選ぶこと自体、誤りだ。

AB：AとBの混合したもの

【説明】文字通り。これも珍しくないが、中には質問というよりも議員が

感想を述べているだけのようなものもある。

C：首長を単に批判するもの（政策批判と評価できるものはCと評価しない）

【説明】 首長に対する単なる誹謗中傷といえるものに記した。質問者の意
思は市長の資質に係わる論点を提示しているつもりであろうが、質問と
しては生産的でない。最初はおもしろおかしく感じられても、ベタな批
判ばかりだと市民の関心も遠のく。残念な質問というほかない。

4 一次採点に対する意見

(1) 以上の基準で評価した一時採点結果を対象となる議員個人に送付し、意
見を伺った。これに対して個人で何らかのご意見をお寄せ下さったのは、藤
沢忠将議員、中村孝太郎議員、山口清明議員、わしの恵子議員、うさみいく
愛議員で、自由民主党名古屋市議員団、公明党名古屋市議員団、民主党
名古屋市議団、減税日本新政会からは会派名での意見をいただいた。この場
を借りて感謝したい。

(2) 本会議での質問だけで議員を評価するような今回の調査には疑義がある、
という意見が多く寄せられた。これに対する私たちの回答は、冒頭に述べた
とおりであり、本会議が形骸化している状況に対する問題提起でもある。と
はいうものの、本会議での質問の出来不出来だけで議員の職務全般を評価し
たかのような誤解が生じないように、今回の調査はこれまでいくつかの市民団
体が発表した「議員通信簿」という名称ではなく、「議員本会議質問ランキン
グ」という名称とすることとした。

次に問題とされたのは、発言していない議員に対する評価であった。一次
採点ではこれを「失格」と記したが、質問時間が会派毎に割り当てられる運
用がなされているため、質問できなかった点を失格評価するのは実情を示し
たものではない、という批判だ。この意見には合理性はあると考えたため、
失格ではなく「記録なし」という記載とした。ただし、質問時間がいくら会
派割当であったとしても、任期中一度も質問に立たない、というのは、問題
だ。したがって、今後の調査の中で、任期中一度も質問をしない場合には、
しかるべき低い評価をせざるを得ない、と考えている。

(3) そのほか、当方の評価に対する詳細な意見や反論もいただいた。個別の
意見に対しては、再度議事録を読み直し、再評価を行った。

5 評価結果

(1) 以上をもとに各質問毎に採点をし、質問 1 件あたりの平均点を算出してランキングを作成した。また、これとは別に、質問全体にしめる A、B、A B、C の割合を「残念な質問の割合」として示した。

(2) 順位、各質問に対する評価は別表をご覧いただきたいが、2011 年度の質問でもっとも高得点を獲得したのは、斎藤まこと議員の 2012 年 3 月 6 日の「行財政改革の取り組み」について」に関する質問で、7 点を獲得した。これに継ぐのは山田まな議員の 2011 年 11 月 25 日の「減税と行財政改革推進体制の強化について」に関する質問ならびに、中村満議員の 2011 年 7 月 1 日の「高齢者、障害者、子ども等に対するデイサービスの今後の展開について」、田辺雄一議員の 2012 年 3 月 6 日の「子育て支援について」で、6 点であった。

いずれも満点ではないが、問題点の掘り下げ方や調査手法など、執行部に対するチェックという観点からは有効な質問と言える。

(3) さて、次に注目したいのは、質問件数と平均点との関係である。例外があるものの、ほとんどの例で、質問件数が多い議員ほど、1 件あたりの点数が低い、という結果となった。消化不足が顕著なのだ。こういった現象は、包括外部監査にも共通するが、突っ込みの浅い、あるいは準備不足の質問を多数行うよりも、テーマを絞って深く執行部の問題点を指摘する方が行政監視の観点からは効果的である。そもそも議会の本会議は議員の意見発表会ではないのだ。

(4) このランキング調査は今後も定期的に行う予定である。次回の調査ではより良い質問がなされるよう、期待したい。

6 発言の資料

(1) 発言の根拠資料は「定例名古屋市会会議録」(インターネット版)とした。

- 平成 23 年 6 月 定例名古屋市会会議録
- 平成 23 年 9 月 定例名古屋市会会議録
- 平成 23 年 11 月 定例名古屋市会会議録
- 平成 24 年 2 月 定例名古屋市会会議録

7 今後の取り組み

- (1) 今回の調査結果を名古屋市民ならびに市議員に報告する。
 - ・具体的には、名古屋市民オンブズマンのホームページに掲載する。
<http://www.omnagoya.gr.jp/tokusyuu/giin/index.htm>
 - ・まとめた文書を全市議員の事務所に送付する。
- (2) 発言者によっては、ゼロ点の議員も存在するが、この結果は、あくまで上記評価基準をもとにしたためである。
 - ・今回の調査対象外である無発言者は、会派内の条件もあると考えるが、前記2記載の本会議の重要性を再認識したうえで、議員の使命とも言うことができる本会議で質問する機会を放棄することのないよう要請したい。
- (3) 今後の取り組みとして、今回を含め3年間、同評価基準で実施したい。

以 上

2011年度 名古屋市議員 本会議質問ランキング

順位	議員名 (会派名は当時)	質問 件数	①事前・ 現場調査	②他都 市との 比較	③改善 点	合計	平均点 (満点9 点)	ABC 評価	ABC割合
1	山田まな(減税)	2	4	3	4	11	5.50	0	0%
2	斎藤まこと(民主)	2	5	0	4	9	4.50	0	0%
3	渡辺房一(民主)	1	3	0	1	4	4.00	0	0%
4	舟橋猛(減税)	2	3	2	1	6	3.00	0	0%
4	玉置真悟(減税)	1	1	1	1	3	3.00	0	0%
4	近藤和博(公明)	5	7	3	5	15	3.00	1	20%
7	福田誠治(公明)	7	9	1	8	18	2.57	0	0%
8	ふじた和秀(自民)	2	2	1	2	5	2.50	0	0%
8	三輪芳裕(公明)	2	3	1	1	5	2.50	0	0%
8	中村満(公明)	6	7	3	5	15	2.50	4	67%
8	沢田晃一(公明)	4	5	2	3	10	2.50	0	0%
8	さはしあこ(共産)	4	6	0	4	10	2.50	0	0%
13	ばばのりこ(公明)	4	4	2	3	9	2.25	0	0%
13	田辺雄一(公明)	4	6	0	3	9	2.25	2	50%
13	佐藤健一(公明)	4	4	2	3	9	2.25	1	25%
16	大村光子(減税)	2	1	1	2	4	2.00	0	0%
16	松山とよかず(減税)	2	2	1	1	4	2.00	1	50%
16	鈴木孝之(減税)	2	2	1	1	4	2.00	1	50%
16	荒川和夫(減税)	4	4	1	3	8	2.00	1	25%
16	岩本たかひろ(自民)	4	4	2	2	8	2.00	2	50%
16	成田たかゆき(自民)	1	1	0	1	2	2.00	0	0%
16	木下優(公明)	4	4	1	3	8	2.00	4	100%
16	小林祥子(公明)	2	2	1	1	4	2.00	0	0%
16	加藤一登(民主)	1	1	0	1	2	2.00	0	0%
16	わしの恵子(共産)	3	4	0	2	6	2.00	0	0%
16	田口一登(共産)	2	2	0	2	4	2.00	0	0%
27	余語さやか(減税)	5	4	3	2	9	1.80	3	60%
27	岡田ゆき子(共産)	5	4	1	4	9	1.80	2	40%
29	富田英寿(減税)	4	3	1	3	7	1.75	4	100%
30	丹羽ひろし(自民)	7	7	0	4	11	1.57	3	43%
31	うさみいく愛(減税)	11	7	2	8	17	1.55	5	45%
32	かたぎりえいこ(減税)	2	2	0	1	3	1.50	1	50%
33	山口清明(共産)	5	4	0	3	7	1.40	1	20%
34	中村孝道(減税)	3	3	0	1	4	1.33	3	100%
35	松井よしのり(自民)	10	9	0	4	13	1.30	6	60%
36	さいとう実咲(減税)	5	4	0	2	6	1.20	3	60%
37	湯川栄光(減税)	10	5	2	4	11	1.10	7	70%
38	近藤徳久(減税)	3	1	0	2	3	1.00	2	67%
38	金城ゆたか(減税)	3	2	0	1	3	1.00	3	100%
38	堀田太規(減税)	5	2	1	2	5	1.00	4	80%
38	加藤修(減税)	1	0	0	1	1	1.00	1	100%
38	浅井正仁(自民)	6	2	1	3	6	1.00	4	67%
38	藤沢忠将(自民)	1	0	0	1	1	1.00	0	0%
38	東郷哲也(自民)	7	5	1	1	7	1.00	4	57%
38	おかどめ繁広(民主)	1	1	0	0	1	1.00	0	0%
38	山本久樹(民主)	2	1	0	1	2	1.00	0	0%
38	服部将也(民主)	2	1	1	0	2	1.00	1	50%
48	とみぐち潤之輔(減税)	5	1	1	2	4	0.80	4	80%
49	小川としゆき(民主)	8	2	1	2	5	0.63	5	63%
50	中里高之(自民)	4	0	0	2	2	0.50	0	0%
50	日比健太郎(民主)	2	1	0	0	1	0.50	1	50%
52	斉藤たかお(自民)	7	2	0	1	3	0.43	6	86%
53	うかい春美(民主)	5	2	0	0	2	0.40	1	20%
54	坂野公壽(自民)	3	1	0	0	1	0.33	0	0%
55	林なおき(減税)	3	0	0	0	0	0.00	3	100%
55	西川ひさし(自民)	1	0	0	0	0	0.00	1	100%

2011年度 名古屋市議員 本会議質問ランキング

順位	議員名 (会派名は当時)	質問 件数	①事前・ 現場調査	②他都 市との 比較	③改善 点	合計	平均点 (満点9 点)	ABC 評価	ABC割合
記録なし	浅井康正(減税)	0	-	-	-	-	-		
記録なし	鹿島としあき(減税)	0	-	-	-	-	-		
記録なし	黒川慶一(減税)	0	-	-	-	-	-		
記録なし	田山宏之(減税)	0	-	-	-	-	-		
記録なし	園田晴夫(減税)	0	-	-	-	-	-		
記録なし	中村孝太郎(減税)	0	-	-	-	-	-		議長
記録なし	山崎正裕(減税)	0	-	-	-	-	-		
記録なし	河合優(減税)	0	-	-	-	-	-		
記録なし	堀場章(自民)	0	-	-	-	-	-		
記録なし	渡辺義郎(自民)	0	-	-	-	-	-		
記録なし	伊神邦彦(自民)	0	-	-	-	-	-		
記録なし	岡本善博(自民)	0	-	-	-	-	-		
記録なし	横井利明(自民)	0	-	-	-	-	-		
記録なし	中田ちづこ(自民)	0	-	-	-	-	-		副議長
記録なし	中川貴元(自民)	0	-	-	-	-	-		
記録なし	金庭宜雄(公明)	0	-	-	-	-	-		
記録なし	長谷川由美子(公明)	0	-	-	-	-	-		
記録なし	久野浩平(民主)	0	-	-	-	-	-		
記録なし	おくむら文洋(民主)	0	-	-	-	-	-		

2011年度 名古屋市会議員 本会議質問ランキング 個別表

名古屋市民オンブズマン

質問日	議員名(会派名は当時)	質問項目	①事前・現場調査		②他都市の比較		③改善案		ABC	合計
			採点	根拠	採点	根拠	採点	根拠		
	浅井康正(減税)		個人質問なし							記録なし
H23.9.16	大村光子(減税)	①マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知について	1	62人アンケート	0		1	男子フルマラソンを		2
H24.3.7	大村光子(減税)	①旧町名復活による郷土史再認識と名古屋の活性化について	0		1	金沢市	1	寄附で費用をまかなえ、窓口設置を		2
H23.7.1	余語さやか(減税)	①待機児童対策について	1	名古屋市の政策は調査して	1		0	抽象的		2
H23.7.1	余語さやか(減税)	②音楽のあふれるまちづくりについて	0		1	仙台	0			1
H23.9.14	余語さやか(減税)	①待機児童対策について	1	補正予算のデータ	0		1	小中学校の敷地利用をせよ	A	2
H23.9.14	余語さやか(減税)	②本市職員の不祥事について	1	内部規定・不祥事の調査	0		0		B	1
H23.11.29	余語さやか(減税)	①新たな手法による保育所整備について	1	待機児童数、予算要求	1	世田谷での取り組み	1	市役所内保育所	B	3
	鹿島としあき(減税)		個人質問なし							記録なし
H23.9.16	山田まな(減税)	①指定管理者制度と減税について	2	国際会議場1.4億経費節減	1	民間事業者の割合、横浜市視察	2	図書館を指定管理者に		5
H23.11.25	山田まな(減税)	①減税と行財政改革推進体制の強化について	2	浜松市の例について分析	2	浜松市について	2	行革推進の方策について		6
H23.7.1	湯川栄光(減税)	①中学校体育における武道の必修化について	0		1	柔道選択率	0		A	1
H23.7.1	湯川栄光(減税)	②生後2ヶ月までの育児支援について	1	市川香織さんの話とエジンバラアンケートの紹介、東海市の例を紹介	0		0		A	1
H23.9.16	湯川栄光(減税)	①児童虐待防止の取り組みについて	0		1	福岡市	0		AB	1
H23.9.16	湯川栄光(減税)	②地域委員会に関する市民意見交換会について	0		0		0		AB	0
H23.11.28	湯川栄光(減税)	①市民税減税の民意について	1		0		0		B	1
H23.11.28	湯川栄光(減税)	②名東区における中学生虐待死亡事件について	1		0		1	厳しい基準で	AB	2
H23.11.28	湯川栄光(減税)	③キャリア・マイスターについて	1	熊の前小学校	0		0		AB	1
H24.3.7	湯川栄光(減税)	①中学校の武道必修化における柔道事故防止対策について	0		0		1	レスリングマット、教育段位やめろ		1
H24.3.7	湯川栄光(減税)	②地域委員会について	0		0		1	名簿作り		1

2011年度 名古屋市会議員 本会議質問ランキング 個別表

名古屋市民オンブズマン

質問日	議員名(会派名は当時)	質問項目	①事前・現場調査		②他都市の比較		③改善案		ABC	合計
			採点	根拠	採点	根拠	採点	根拠		
H24.3.7	湯川栄光(減税)	③「減税都市ナゴヤ」における企業誘致の取り組みについて	1	進出企業数と名古屋市のホームページ	0		1	ホームページ		2
H23.11.25	松山とよかず(減税)	① 減税を通して市長が目指す名古屋の都市像について	0		0		0		B	0
H23.11.25	松山とよかず(減税)	② やる気に応える人事・給与制度について	2	係長試験について	1	横浜市に視察、担当者に	1			4
H23.7.1	富田英寿(減税)	①本市における防災対策及び東日本大震災の影響について	0	まくらに過ぎない	0		0		A	0
H24.3.6	富田英寿(減税)	① 介護予防及び認知症施策の推進について	1	要介護人数	1	中央区	1	チェックリスト	B	3
H24.3.6	富田英寿(減税)	② 定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び複合型サービスの創設について	1		0		1		B	2
H24.3.6	富田英寿(減税)	③ ひとり暮らし高齢者緊急通報事業(あんしん電話)及び福祉電話の貸与の充実について	1		0		1		B	2
H23.6.29	とみぐち潤之輔(減税)	①国民健康保険におけるジェネリック医薬品の普及促進への取り組みについて	0		0		0		A	0
H23.9.16	とみぐち潤之輔(減税)	①市立病院における医療事故防止の現状について	0		0		0		A	0
H23.9.16	とみぐち潤之輔(減税)	②東部医療センターの今後の展望について	1	利用率	0		1	増床		2
H23.11.28	とみぐち潤之輔(減税)	①NPO団体への支援の仕組みづくりについて	0		1	よこはま夢ファンド、市川	1	NPOカタログ	B	2
H23.11.28	とみぐち潤之輔(減税)	②市長マニフェストの進捗状況について	0		0		0		BC	0
H24.3.7	鈴木孝之(減税)	①災害時におけるペット対策について	1	新潟中越地震、東日本大震災8割同伴	1	新宿の例	1	マニュアル		3
H24.3.7	鈴木孝之(減税)	②市長室秘書課において管理している黒塗り公用車について	1	黒塗り公用車の利用について	0		0		A	1
	黒川慶一(減税)		個人質問なし							記録なし
H23.9.14	さいとう実咲(減税)	① AEDの普及における使用方法などの啓発活動について	0	いろいろな人の話を聞いただけ	0		1	中学校でAEDに触れさせよ	A	1
H23.9.14	さいとう実咲(減税)	② パチンコ・パチスロ廃棄台のリサイクル・リユースについて	1	リユースの状況について	0		0			1
H23.9.14	さいとう実咲(減税)	③ 本市の青少年非行防止施策における未成年者へのたばこ、酒等の販売に	1	子ども青少年局調査	0		0		B	1
H23.11.28	さいとう実咲(減税)	①脱原発に向けての本市の取り組みについて	1	IEAデータ	0		1	名古屋電力を		2

2011年度 名古屋市会議員 本会議質問ランキング 個別表

名古屋市民オンブズマン

質問日	議員名(会派名は当時)	質問項目	①事前・現場調査		②他都市の比較		③改善案		ABC	合計
			採点	根拠	採点	根拠	採点	根拠		
H24.3.6	さいとう実咲(減税)	① 都市鉱山に対する本市の取り組みについて	1		0		0	抽象的	B	1
H23.6.30	近藤徳久(減税)	①東日本大震災を教訓とした今後の本市の取り組みについて	0	質問のきっかけになった視察内容を紹介しているだけ	0		1	ワンストップサービスにせよ	B	1
H23.9.16	近藤徳久(減税)	①食の安全・安心の確保について	0		0		1	トレーサビリティシステムの導入		1
H23.11.29	近藤徳久(減税)	①児童虐待の現状と課題について	1	児童虐待の数の調査	0		0		AB	1
H23.11.29	林なおき(減税)	①災害備蓄物資の管理について	0	避難所に行ったことは、特に現地調査ではない。	0		0	抽象的提案	A	0
H23.11.29	林なおき(減税)	②市公式ウェブサイトについて	0	中日新聞の記事から質問しただけで、テーマのために新聞記事を調査したのではない。	0		0		A	0
H23.11.29	林なおき(減税)	③災害時における避難方法について	0	中川区のハザードマップから質問しただけで、テーマのために調べたのではない。	0		0		A	0
H23.7.1	うさみいく愛(減税)	①介護保険制度をめぐる現状と課題について	1	名古屋市の政策と厚生労働省の説明	0		0		A	1
H23.7.1	うさみいく愛(減税)	②新斎場の津波避難ビルとしての活用について	1	火葬件数を調査	0		1	津波避難ビルとすべき		2
H23.7.1	うさみいく愛(減税)	③名古屋港伊勢湾クルーズの必要性について	1	名古屋港について調査	0		0		A	1
H23.9.16	うさみいく愛(減税)	①本市における放射性物質に対する危機管理対策について	0		0		1	マニュアル作成、地域防災計画に反映		1
H23.9.16	うさみいく愛(減税)	②自然エネルギーの普及拡大に向けた本市の考え方について	1	太陽光・太陽熱の件数を調査	0		1	太陽熱温水器の普及を		2
H23.11.29	うさみいく愛(減税)	① 中途視覚障害の原因となる疾病の予防のための眼科検診の重要性につ	0		0		1	40以上定期健診	B	1

2011年度 名古屋市議員 本会議質問ランキング 個別表

名古屋市民オンブズマン

質問日	議員名(会派名は当時)	質問項目	①事前・現場調査		②他都市の比較		③改善案		ABC	合計
			採点	根拠	採点	根拠	採点	根拠		
H23.11.29	うさみいく愛(減税)	② きめ細かな防災対策について	1	無料耐震診断	0		1	助成金を手厚く	B	2
H23.11.29	うさみいく愛(減税)	③名古屋港の海上からの社会見学の実施について	1	名古屋港視察	1	東京都	0		B	2
H24.3.5	うさみいく愛(減税)	① 地域を支える市民ボランティアの育成について	1	白澤教授に聞きに行く	1	刈谷市の例	1	鯉城学園の講座を設けよ		3
H24.3.5	うさみいく愛(減税)	② 行政財産の活用と市民サービス向上の視点で見る区役所駐車場の有効活用について	0		0		1	駐車場を開放せよ		1
H24.3.5	うさみいく愛(減税)	③「老人クラブ」の愛称募集について	0		0		1	名前を公募せよ		1
H24.3.7	金城ゆたか(減税)	①自転車走行空間の整備及び地域との連携について	1	弥富通写真	0		0		AB	1
H24.3.7	金城ゆたか(減税)	②学校における「弁当の日」の取り組みについて	1	弁当の調査	0		1	弁当の日	AB	2
H24.3.7	金城ゆたか(減税)	③地域委員会について	0	父の会は単なる経験	0		0		B	0
	田山宏之(減税)		個人質問なし							記録なし
H23.11.29	中村孝道(減税)	①本市における電力の取り組みについて	1	PPS事業者の納入状況・ごみ発電実績	0		0		B	1
H23.11.29	中村孝道(減税)	②市営住宅における高齢者共同居住事業について	1	孤立死の数	0		0		B	1
H24.3.7	中村孝道(減税)	①本市小学校における井戸水使用の提案について—災害時避難所の井戸	1	老人介護施設	0		1	井戸を掘れ	AB	2
	園田晴夫(減税)		個人質問なし							記録なし
H23.11.29	かたぎりえいこ(減税)	①「なごや観光ルートバス」の充実について	1	メーグルのパンフ、市民経済局の資料	0		1	名古屋南部にメーグル	B	2
H23.11.29	かたぎりえいこ(減税)	②名古屋市の観光戦略について	1	アンケートの調査	0		0			1
H23.9.16	荒川和夫(減税)	①名古屋高速道路の維持管理について	1	橋脚さび	0		0		A	1
H23.9.16	荒川和夫(減税)	②地域巡回バスの運行経路について	2	瑞穂巡回バス乗車	1	豊田市安城市バス	1	地域内道路へバスを		4
H23.9.16	荒川和夫(減税)	③新堀川の堤防の安全性及び防災緑道の設置について	1	橋視察	0		1	1メートルかさ上げ		2
H23.9.16	荒川和夫(減税)	④災害時・渇水時のための新たな水源の確保について	0		0		1	地下水利用を		1
H23.6.30	舟橋猛(減税)	①帰宅困難者対策について	1	首都直下地震等の調査	1	東京都との比較	0	抽象的提案のみ		2

2011年度 名古屋市会議員 本会議質問ランキング 個別表

名古屋市民オンブズマン

質問日	議員名(会派名は当時)	質問項目	①事前・現場調査		②他都市の比較		③改善案		ABC	合計
			採点	根拠	採点	根拠	採点	根拠		
H24.3.6	舟橋猛(減税)	①公衆無線LANについて	2		1	福岡市、大阪市	1	名古屋大学の例		4
H23.9.15	堀田太規(減税)	① COP10を継承する具体的な取り組みについて	0		0		0		A	0
H23.9.15	堀田太規(減税)	② 市民参加による花づくりについて	0		1	大阪府	1	地元企業を巻き込んだシステムを提案		2
H23.9.15	堀田太規(減税)	③ 平針里山の開発について	0		0		0		A	0
H24.3.5	堀田太規(減税)	① 栄・久屋大通の再生について	1	福岡の例	0		1	屋台作れ	AB	2
H24.3.5	堀田太規(減税)	② 名古屋城の周辺総合整備について	1	映画村の調査	0		0	大河ドラマの誘致は思い付きであり、具体的提案といえないので	B	1
H23.9.16	玉置真悟(減税)	①警察法上の指定市制度のあり方について	1	国家公安委員会が見直し	1	仙台市意見交換会	1	市として警察行政に意見を		3
H23.9.15	加藤修(減税)	①学校における防災教育について	0		0		1	防災ノートの活用	B	1
	中村孝太郎(減税)			個人質問なし						記録なし
	山崎正裕(減税)			個人質問なし						記録なし
	河合優(減税)			個人質問なし						記録なし
	堀場章(自民)			個人質問なし						記録なし
	渡辺義郎(自民)			個人質問なし						記録なし
	伊神邦彦(自民)			個人質問なし						記録なし
H23.9.14	ふじた和秀(自民)	①減税財源について	1	財源のデータ	0		1	行政評価不十分		2
H23.11.29	ふじた和秀(自民)	①児童虐待について	1	リスクアセスメントシート	1	高知県、政令市比較	1	フォーマット改善		3
H23.11.25	中里高之(自民)	①「自動車取得税と自動車重量税の廃止」が及ぼす財政的影響について	0	予算については調査にならばパンプを見ればわかる	0		0			0
H23.11.25	中里高之(自民)	② 高年大学鯉城学園の廃止について	0	抽象的	0		0			0
H23.11.25	中里高之(自民)	③名古屋城ウエディングについて	0		0		1	結婚式		1
H23.11.25	中里高之(自民)	④市役所本庁舎と公館の新たな活用について	0		0		1			1
H23.7.1	丹羽ひろし(自民)	①河村市長の市政運営及び政治姿勢における問題点について	0		0		0		C	0
H23.7.1	丹羽ひろし(自民)	②市設建築物の耐震性強化について—猪高車庫のブロック塀を例として—	2	猪高車庫ブロック塀	0		1	ブロックが危険であることを指摘	A	3

2011年度 名古屋市議員 本会議質問ランキング 個別表

名古屋市民オンブズマン

質問日	議員名(会派名は当時)	質問項目	①事前・現場調査		②他都市の比較		③改善案		ABC	合計
			採点	根拠	採点	根拠	採点	根拠		
H23.9.15	丹羽ひろし(自民)	① 地域委員会について	2	意見交換会に複数参加	0		0			2
H23.9.15	丹羽ひろし(自民)	② 市長の政治姿勢について	0		0		0			0
H24.3.7	丹羽ひろし(自民)	①市民税5%恒久減税による寄附文化の育成について	1	寄附状況、東京都横浜市大阪市	0		1	税優遇策		2
H24.3.7	丹羽ひろし(自民)	②地域委員会のモデル実施について	1	地域委員会傍聴	0		1	東区全てでモデル実施を		2
H24.3.7	丹羽ひろし(自民)	③ふえ続ける生活保護について	1	生活保護受給状況を調査+大阪	0		1	警察官OBを雇う	A	2
H23.11.29	西川ひさし(自民)	①本市の航空宇宙産業に対する取り組みについて	0		0		0		B	0
H23.6.30	岩本たかひろ(自民)	①待機児童対策について	1	予算、待機児童数調査	1	横浜市との比較	1	保育士養成など		3
H23.6.30	岩本たかひろ(自民)	②休日保育について	1	現場調査のみ	0		0	抽象的		1
H23.11.28	岩本たかひろ(自民)	① なごや子どもCity2010の検証と今後について	1	メキシコ、ミュンヘン	1		1		A	3
H23.11.28	岩本たかひろ(自民)	② チャブルテペック動物園との動物交流について	1	メキシコ動物園	0		0	テポリンゴ	B	1
H23.7.1	浅井正仁(自民)	①プラスチック資源の飛散対策について	0	中川区の有権者からの声を紹介しているだけで調査らしい調査をしていない	0		0		B	0
H23.7.1	浅井正仁(自民)	②あおなみ線のさらなる利用価値の追求について	0	あおなみ線の沿線について述べているが、抽象的であり、具体的にSL等を走らせるための要件等について調査していない	0		0	あおなみ線にSLを走らせる話は市長の言ったことを繰り返すだけ。東西の有名大学の誘致は思いつきに過ぎない	B	0
H23.9.15	浅井正仁(自民)	① 暴力団の排除の推進について	0		0		0		B	0
H23.9.15	浅井正仁(自民)	② 土地開発公社と公社保有地について	1	土地開発公社について調査	1	大阪、千葉等と比較	1	土地開発公社の問題点を指摘		3

2011年度 名古屋市会議員 本会議質問ランキング 個別表

名古屋市民オンブズマン

質問日	議員名(会派名は当時)	質問項目	①事前・現場調査		②他都市の比較		③改善案		ABC	合計
			採点	根拠	採点	根拠	採点	根拠		
H24.3.6	浅井正仁(自民)	①だれもがお世話になっている市バスについて	1	事故と苦情について調査	0		1	ネームプレートをつけよ		2
H24.3.6	浅井正仁(自民)	②陸前高田市との交流について	0	PTA会長の経験を話している	0		1	名古屋の子が陸前高田	B	1
H23.6.30	斉藤たかお(自民)	①テレビ塔の存続について	0	意欲的調査ではない	0		0		B	0
H23.6.30	斉藤たかお(自民)	②マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知について	0		0		0		A	0
H23.6.30	斉藤たかお(自民)	③民間活力の積極的活用について	1	横浜市の調査	0		1	窓口の設置		2
H23.9.16	斉藤たかお(自民)	①新たな大都市制度の創設への取り組みについて	0		0		0		B	0
H23.9.16	斉藤たかお(自民)	②本市の財政状況について(財政局)	0		0		0		A	0
H24.3.5	斉藤たかお(自民)	①中京都・尾張名古屋共和国構想について	1		0		0		B	1
H24.3.5	斉藤たかお(自民)	②テレビ塔の存続について	0		0		0		B	0
H23.6.29	坂野公壽(自民)	①中京都構想について	0		0		0			0
H23.6.29	坂野公壽(自民)	②陽子線がん治療施設について	0		0		0			0
H23.6.29	坂野公壽(自民)	③本市の防災対策について(住宅都市局、緑政土木局、消防局、教育委員会)	1		0		0			1
H23.7.1	松井よしのり(自民)	①市有財産の有効活用について	1	条例・予算について調査	0	横浜市広告	1	広告事業の実施や自販機の設置をせ	A	2
H23.7.1	松井よしのり(自民)	②小中学校の安全対策の現状と推進について	1	カメラ付きインターホンと電子錠双方の施設について調査	0		1	ハード面の充実を要望		2
H23.9.16	松井よしのり(自民)	①名古屋城周辺のにぎわいづくりについて—なごや版おかげ横丁—	1	名古屋城視察	0		1	おかげ横丁を	B	2
H23.9.16	松井よしのり(自民)	②「名古屋おもてなし武将隊」の今後の取り組みについて	1	観光客アップ	0		0		B	1
H23.11.28	松井よしのり(自民)	①台風15号を踏まえた避難のあり方について	1	避難所、住民説明会	0		0	テレビでデータ放送	A	1
H23.11.28	松井よしのり(自民)	②「につぼんど真ん中祭り」の本市における位置づけについて	1		0		0		A	1
H23.11.28	松井よしのり(自民)	③住民票等のコンビニ交付の検討状況について	1	番号法案	0		0		AB	1
H24.3.6	松井よしのり(自民)	①世界の金シャチ横丁(仮称)構想について	0		0		0			0
H24.3.6	松井よしのり(自民)	②首都圏への「名古屋市公式アンテナショップ」開設について	1	なごみやや三重の調査	0		1	首都圏		2

2011年度 名古屋市会議員 本会議質問ランキング 個別表

名古屋市民オンブズマン

質問日	議員名(会派名は当時)	質問項目	①事前・現場調査		②他都市の比較		③改善案		ABC	合計
			採点	根拠	採点	根拠	採点	根拠		
H24.3.6	松井よしのり(自民)	③ 区役所市民課業務の民間活力導入について	1	池田市の調査	0		0			1
	岡本善博(自民)			個人質問なし						記録なし
	横井利明(自民)			個人質問なし						記録なし
	中田ちづこ(自民)			個人質問なし						記録なし
	中川貴元(自民)			個人質問なし						記録なし
H23.9.15	藤沢忠将(自民)	①教科書採択について	0		0		1	採択についての公開討論会の提案		1
H23.6.29	東郷哲也(自民)	①リコール署名簿の流出問題について	0		0		0		C	0
H23.6.29	東郷哲也(自民)	②減税日本ナゴヤ所属議員をめぐる問題に対する市長の見解について	0		0		0		C	0
H23.9.14	東郷哲也(自民)	① 市民税減税条例について	0		0		0			0
H23.9.14	東郷哲也(自民)	②リコール署名簿の流出問題について	0		0		0		C	0
H23.9.14	東郷哲也(自民)	③ 被災地の継続支援について	1	現場に行っただけで主体的調査なし	0		0		A	1
H24.3.5	東郷哲也(自民)	① 新公会計制度について	2	大阪府へ調査	1	東京都との比較	0			3
H24.3.5	東郷哲也(自民)	② 平成23年台風15号における吉根排水樋門の操作の検証について	2	吉根の現場、雨量調査	0		1	職員配置と水利計画が問題		3
H23.11.25	成田たかゆき(自民)	①陽子線がん治療施設について	1	米国視察結果を羅列しているだけ	0	米国比較	1	米国比較で問題点を述べているだけ		2
H23.9.14	三輪芳裕(公明)	①「買い物弱者」への対応について(健康福祉局、市民経済局)	2	買い物弱者、小売店のデータ・富山県視察	1		1	富山県のような対策		4
H23.9.14	三輪芳裕(公明)	② 防災に対する意識改革について	1	過去の調査のデータ	0		0	状況調査や意識調査をせよ 抽象的		1
H23.6.30	福田誠治(公明)	①災害時における中川運河の閘門について	2	津波の高さ、水面の調査が詳細	0		1	水門を高くすることなど		3
H23.6.30	福田誠治(公明)	②災害時における避難所のあり方について	1	耐震工事など、トイレの数など			1	給配水管の耐震化が重要		2
H23.9.15	福田誠治(公明)	① 災害時における備蓄物資の充実について	0		0		1	腎臓病患者も摂取できる食品の備蓄を提案		1

2011年度 名古屋市会議員 本会議質問ランキング 個別表

名古屋市民オンブズマン

質問日	議員名(会派名は当時)	質問項目	①事前・現場調査		②他都市の比較		③改善案		ABC	合計
			採点	根拠	採点	根拠	採点	根拠		
H23.9.15	福田誠治(公明)	②中川運河について	2	中川運河の状況を調べている	0		2	水流発生装置の設置とポンプの増強を		4
H23.9.15	福田誠治(公明)	③河川下の横断下水管の耐震化について	1	下水管を調査	0		0			1
H24.3.7	福田誠治(公明)	①中川運河について	1	満潮時越水	1	沼津市水門	1	水門を作れ		3
H24.3.7	福田誠治(公明)	②上下水道管の地震対策について	1	軌道下151、河川下65	0		1	耐震化を含めた老朽対策、緊急遮断弁設置		2
H24.3.7	福田誠治(公明)	③市民の目線で運行する市バスについて	1	南区巡回バス	0		1	水たまり、自転車を連絡しろ、企業債等活用せよ		2
H23.9.16	ばばのりこ(公明)	①なごやの将来像と中京都構想・特別自治市について	1	特別自治市の特徴 県税と県税交付金の額	1	京都	1	なごや尾張広域連合		3
H23.9.16	ばばのりこ(公明)	②自殺対策について	1	自殺者数、予算	1	新潟市、堺市、兵庫県、	0			2
H23.9.16	ばばのりこ(公明)	③市民からの寄附	1	台湾宝くじレシート	0		1	宝くじレシート		2
H23.11.29	ばばのりこ(公明)	①なごやの将来像について	1		0		1	財政新ルールを		2
H23.7.1	中村満(公明)	①災害時の避難所における間仕切りの必要性について	1	東北に電話で確認	0	被災地の状況を述べているだけ。現在の名古屋市との比較になっていない	1	間仕切りの必要性を述べている。	A	2
H23.7.1	中村満(公明)	②未受診及び治療中断中の精神障害者への訪問支援について	1	岡山県の例を挙げている	1	岡山県の例と比較	0	問題点の指摘が抽象的	A	2
H23.7.1	中村満(公明)	③高齢者、障害者、子ども等に対するデイサービスの今後の展開について	2	富山型デイサービスを現場調査	2	富山型デイサービスについて県庁職員と会っている	2	富山型デイサービスについて		6
H24.3.6	中村満(公明)	①介護サービス事業者等に対する指定指導の方針について	1	不正請求額の調査	0		1	抜き打ち検査をせよ		2
H24.3.6	中村満(公明)	②本市におけるHIV抗体検査の今後の展開について	1	患者数の調査	0		1	平日即日検査	A	2

2011年度 名古屋市会議員 本会議質問ランキング 個別表

名古屋市民オンブズマン

質問日	議員名(会派名は当時)	質問項目	①事前・現場調査		②他都市の比較		③改善案		ABC	合計
			採点	根拠	採点	根拠	採点	根拠		
H24.3.6	中村満(公明)	③ 普通公衆浴場(銭湯)の将来像について	1	数の調査	0		0		B	1
H23.6.30	木下優(公明)	①災害ボランティア活動への支援について	1	ボランティア活動	0		1	ボランティアセンターでの	B	2
H23.6.30	木下優(公明)	②期日前投票の見直しについて	1	他都市の例を挙げている	0		1	ダウンロード	B	2
H23.11.28	木下優(公明)	①自転車の安全利用について	1	春日井工高	0		0	条例化	A	1
H23.11.28	木下優(公明)	②特別支援学校版のトワイライトスクールについて	1	横浜市視察	1		1	名古屋市にも	AB	3
H23.6.29	沢田晃一(公明)	①東海・東南海・南海三連動地震発生による臨海地域の被害に対する備えについて	1	御前崎沖、尾鷲沖	1	大阪	0			2
H23.6.29	沢田晃一(公明)	②遮熱塗装について	1	コスト調査1.2倍	1	千代田区、中央区、高山市	1	遮熱塗装を導入せよ		3
H23.11.25	沢田晃一(公明)	①文化芸術の振興について	2	予算、寄付についての調査	0		1	条例制定を提案		3
H23.11.25	沢田晃一(公明)	②宅地における耐震対策について	1	大規模盛り土工対策、液状化対策	0		1	具体的調査の必要性		2
H23.9.14	田辺雄一(公明)	①市民税10%減税条例について	0		0		0		A	0
H23.9.14	田辺雄一(公明)	②災害時の介護物資支援協定について	1	17事業所と供給協定締結、福祉避難所が32ヶ所どまり	0		0		A	1
H24.3.6	田辺雄一(公明)	①超高齢化時代へ向けた介護予防事業の充実と介護の担い手の確保について	2	過去の横浜の調査も加算	0		0			2
H24.3.6	田辺雄一(公明)	②子育て支援について	3	子育て支援の分析	0		3	支援手当て継続についての提案・予算に踏み込む		6
H23.6.29	近藤和博(公明)	①業務継続計画(BCP)策定について	1	国、東京都	1	愛知県、三重県、豊橋市、豊川市	1	業務継続計画の策定は急務		3
H23.6.29	近藤和博(公明)	②空き家の適正管理について	1	所沢市	0		1	空き家条例制定を		2
H23.11.28	近藤和博(公明)	①上下水道管の耐震化について	1	法廷耐用年数	0		1	早く	B	2
H24.3.5	近藤和博(公明)	①老朽家屋等への対策について	1		1	足立区	1	実態調査、データ収集せ		3

2011年度 名古屋市会議員 本会議質問ランキング 個別表

名古屋市民オンブズマン

質問日	議員名(会派名は当時)	質問項目	①事前・現場調査		②他都市の比較		③改善案		ABC	合計
			採点	根拠	採点	根拠	採点	根拠		
H24.3.5	近藤和博(公明)	② 中小企業における事業継続計画(BCP)の普及・啓発について	3	利用度の低さを調査	1	東京都の調査	1	セミナー開催など		5
	金庭宜雄(公明)	個人質問なし								記録なし
H23.9.15	佐藤健一(公明)	① 不育症に対する取り組みについて	1	不育症について調査	1	真庭市、能登町、日立市等の助成と比較	1	助成制度を提案		3
H23.9.15	佐藤健一(公明)	② 避難所の液化化対策に向けた働きかけについて	0		0		0		B	0
H24.3.5	佐藤健一(公明)	① 学校におけるトイレの環境改善について	2	トイレの問題についての調査	1	世田谷区	1	洋式作れ		4
H24.3.5	佐藤健一(公明)	② 認知症疾患医療センターの今後と認知症サポーターについて	1	熊本県の例	0		1	名古屋市立大学との連携		2
	長谷川由美子(公明)	個人質問なし								記録なし
H23.11.28	小林祥子(公明)	① 児童虐待について	1		0		1	加害者更生プログラム		2
H23.11.28	小林祥子(公明)	② 結婚を望む若者への支援について	1		1	愛知県、京都市	0	出会いの場事業		2
	久野浩平(民主)	個人質問なし								記録なし
	おくむら文洋(民主)	個人質問なし								記録なし
H23.9.14	渡辺房一(民主)	①介護保険制度について	3		0		1			4
H23.6.29	うかい春美(民主)	①市長の「ストップアンドシンク」実施による影響について —陽子線がん治療施設の工事凍結及び平針里山の開発許可—	0		0		0			0
H23.6.29	うかい春美(民主)	②中京独立戦略本部について	0		0		0			0
H24.3.5	うかい春美(民主)	① 未来志向の友好都市交流について	0	一般的事項をまкруで述べているだけ	0		0			0
H24.3.5	うかい春美(民主)	② 名古屋城跡全体整備計画について	1	計画について調査	0		0		AB	1
H24.3.5	うかい春美(民主)	③ 待機児童対策について	1	待機児童数を調査	0		0			1
H24.3.6	斎藤まこと(民主)	①「行財政改革の取り組み」について	4	財源を調査	0		3			7
H24.3.6	斎藤まこと(民主)	② 本市の文化振興施策について	1		0		1			2
H23.9.15	おかどめ繁広(民主)	①市民の信頼を失墜させる不祥事をめぐる対応について	1		0		0			1
H23.9.14	山本久樹(民主)	① 市民税10%減税について	1	平成23年度予算、行革について調査	0		0			1

2011年度 名古屋市会議員 本会議質問ランキング 個別表

名古屋市民オンブズマン

質問日	議員名(会派名は当時)	質問項目	①事前・現場調査		②他都市の比較		③改善案		ABC	合計
			採点	根拠	採点	根拠	採点	根拠		
H23.11.25	山本久樹(民主)	①市民税10%減税について	0	予算について数字を言っているだけ	0		1	財政調整基金の不足の問題を指摘している。		1
H23.11.25	加藤一登(民主)	①名古屋港の魅力あるまちづくり開発と新たな観光・交流構想について	1	港の築地ポータウン計画	0		1	抽象的提案のみ		2
H23.11.28	日比健太郎(民主)	①地域委員会制度の意義と役割について	1	ロス地域協議会	0		0	ロス同様に		1
H23.11.28	日比健太郎(民主)	②鯉城学園の存廃問題について	0		0		0	止めるな	A	0
H23.6.29	服部将也(民主)	①交通安全対策に係る道路整備について	1	生活道路事故数	1	横浜市	0			2
H23.6.29	服部将也(民主)	②のら猫対策について	0		0		0		A	0
H23.6.30	小川としゆき(民主)	①減税について	0		0		0		C	0
H23.6.30	小川としゆき(民主)	②津波からの避難について	2	学校にのぼっている	0		0	抽象的	A	2
H23.9.15	小川としゆき(民主)	①ガイドウェイバス事業について	1		0		0			1
H23.9.15	小川としゆき(民主)	②敬老パスについて	0		0		0			0
H23.11.28	小川としゆき(民主)	①台風15号の被害と今後の対策について	0		1	新潟市ハザードマップ	1	水害避難ビル	AB	2
H23.11.28	小川としゆき(民主)	②行財政改革について	0		0		0		BC	0
H24.3.6	小川としゆき(民主)	①尾張名古屋共和国について	0		0		0		A	0
H24.3.6	小川としゆき(民主)	②市民病院について	1		0		1	市民の意見を聴いていないこと		2
H23.9.14	わしの恵子(共産)	①市民税減税条例について	1	平成22年の減税実績	0		0	弱者切捨ての財源確保をしないよう提案 抽象的		1
H23.9.14	わしの恵子(共産)	②大気中の放射線量の測定について	3	愛知県環境調査センター訪問、19学区すべてで放射線	0		1	弱者切捨ての財源確保をしないよう提案		4
H23.9.14	わしの恵子(共産)	③「原発撤退、自然エネルギーへの転換をめざす名古屋市宣言」について	0		0		1	原発撤退の名古屋宣言をせよ		1
H23.11.25	田口一登(共産)	①行政評価「事業仕分け」と市民税減税について	0	表面的、調査ではない	0		1	抽象的		1

2011年度 名古屋市会議員 本会議質問ランキング 個別表

名古屋市民オンブズマン

質問日	議員名(会派名は当時)	質問項目	①事前・現場調査		②他都市の比較		③改善案		ABC	合計
			採点	根拠	採点	根拠	採点	根拠		
H23.11.25	田口一登(共産)	②磁気ループの設置・活用について	2	集団補聴装置の装備状況並びに使用実績について調査	0		1	設置場所を広げるよう提言		3
H23.6.29	山口清明(共産)	①のりたけ前市議の議員辞職に関する減税日本代表としての河村市長の政治責任について	0		0		0		C	0
H23.6.29	山口清明(共産)	②中京都構想について	0		0		0			0
H23.6.29	山口清明(共産)	③地震と津波への備えについて	1	仙台	0		1	学校屋上を避難場所に		2
H24.3.5	山口清明(共産)	①市長の歴史認識と都市外交に対する考え方について	1	外務省ホームページ+平和市長会議の一般的な調査	0		1	平和市長会議参加		2
H24.3.5	山口清明(共産)	②市立病院の役割と守山市民病院の再生について	2	病院で特別個室の利用状況を調査	0		1	具体的な改善案とはいえない		3
H23.6.30	岡田ゆき子(共産)	①休日保育の拡大について	1				1	夏の休日保育料についてタダにすべき	B	2
H23.6.30	岡田ゆき子(共産)	②待機児童解消について	0	公立保育園の民営化数は特に調査とはい	0		1	民営化方針の撤回		1
H23.6.30	岡田ゆき子(共産)	③介護保険法一部改正に伴う本市の対応について	0	給付金準備金残高(予算の数字だけなら)	0		1	総合事業を導入するな		1
H23.6.30	岡田ゆき子(共産)	④介護保険料の引き下げについて	0		0		0		B	0
H23.11.25	岡田ゆき子(共産)	①外部評価対象事業の今後の方向性について	3	野外学習センター、教師の見解も取材。	1	敬老パスについて	1	双方問題の指摘が具体的		5
H23.9.14	さはしあこ(共産)	① 保育所待機児童解消について	2	データ・具体的事例	0		1	現存する施設を使用せよ。売却の必要		3
H23.9.14	さはしあこ(共産)	② 災害時要援護者の避難対策について	2	実際の避難所を調査	0		1	福祉避難所を増やせ		3
H24.3.5	さはしあこ(共産)	① 名古屋城天守閣の木造再建に対する考え方について	1	費用について調査	0		1	耐震補強		2
H24.3.5	さはしあこ(共産)	② ひとり親家庭手当について	1	手当ての実情について	0		1	矛盾発生について		2

平成 24 年 10 月 26 日

名古屋市民オンブズマン

代表 新海 聡 様

自由民主党名古屋市議員団

団長 渡辺 義郎

議員通信簿について（回答）

今般、平成 24 年 10 月 10 日付けの標記の文書を貴団体より受け取りましたが、自由民主党名古屋市議員団といたしましては、以下のように問題があると考えております。

- 1 評価基準そのものに極めて無理があり、この基準をもって本会議質問を評価することは不適切である。

例えば、質疑・質問については、どのような質問をするかなど会派において議論を行った上で行うこともあり、その場合、質疑・質問者は会派議員に委ねることが多い。よって、質疑・質問を行っていない場合は「失格」として扱うことは問題がある。

また、質疑・質問は限られた時間内でせざるを得ないため、事前調査を行ったかどうかを質疑・質問での発言だけを捉えてそれを検証することはできない。事前調査の範囲は、地域の住民や団体、NPO 法人等の市民活動団体、市当局や国等の関係機関からのヒアリング、学識経験者からの意見聴取、新聞・テレビ等の報道、研修会や講演会、インターネットによる情報収集など多岐に渡るものである。他都市との比較も同様であり、他都市と比較がされていない質問がその質を決めるものではない。また、他都市が行っていない施策を新たに提案する場合もある。

さらには、議員には予算提案権が認められておらず、予算編成は執行機関の専権とされているから、予算措置に踏む込むことを議員に求め、また、それを評価基準とすること自体無理がある。

2 本会議での質疑・質問のみをもって、議員通信簿として評価することは、正しく議員を評価するものにはなりません。

名古屋市会では、議案等の審議は、各常任委員会でも専門的かつ効率的に行われており、また、踏み込んだ審議は委員会で行っているものである。従って、本会議での質疑・質問のみをもって、議員通信簿として評価することは、正しく議員を評価するものにはなりません。

さらに、議員活動としては、本会議での質疑・質問、委員会での活動以外にも、地域住民や団体からの意見聴取、調査、研究活動、これらを踏まえた市長に対する要望活動や国・県等に対する要望活動等も行っている。

よって、自由民主党名古屋市会議員団としては、本調査に回答をすることはいたしません。

また、このような調査内容により評価を行い、これを各議員の一般的な評価として公表することは、市民に対し誤解を与えるものであり、議員活動への妨げになるという指摘をせざるを得ません。したがって、このまま公表されるのであれば、自由民主党名古屋市会議員団として、何らかの措置を講ずることも検討させていただきます。

なお、自由民主党名古屋市会議員団といたしましては、今後とも、地域の住民や団体など市民の声に耳を傾け、市民の視点から本会議や委員会で質疑・質問を行い、市政発展と市民生活の向上のため、議員活動を行ってまいりたいと存じます。

平成 24 年 10 月 26 日

名古屋市民オンブズマン

代表 新海 聡 様

公明党名古屋市会議員団

団長 三輪 芳裕

議員通信簿に関する問い合わせについて（回答）

平成 24 年 10 月 10 日付で標記の文書を受け取りましたが、公明党名古屋市会議員団といたしましては、本調査の評価手法について、以下の点で問題があると考えております。

- 1 議員活動の評価基準が本会議における質問のみに限定されていること。

理由

本会議における質問は、重要な議員活動のひとつであることは認めますが、本市のように、議員数に比例して本会議の質問時間が割り当てられる場合、限られた質問時間を会派内で調整し議員に割り当てるため、希望する全ての議員が質問の機会を与えられるわけではありません。特に少数会派においてはそのような傾向が強く、この評価基準では著しく不利にならないを得ません。

我が会派の議員は、本会議における質問の機会が得られない場合でも、委員会の質疑において、調査や提言などで議員活動の成果を示すよう努めており、少なくとも委員会での質疑が評価の対象となっていないことは、調査結果の信頼性を著しく失わせるものであると指摘せざるを得ません。

2 本会議で発言した内容のみが評価の対象となっていること。

理由

本会議での質問内容は、質問時間の都合により事前調査や現場調査の内容、他都市の事例との比較等を、やむを得ず省略して質問することも少なくありません。にもかかわらず、実際に本会議で発言したか否かで評価することは、あまりに乱暴であり議員活動の実態からかけ離れていると指摘せざるを得ません。

3 他都市との比較を行うことが、本会議における質問内容の評価とは、必ずしも一致しないこと。

理由

他都市との比較は、本市の施策を検証する手法として行われることがあることは認めますが、他都市との比較を本会議で発言することが、質の高い質問に必要な要素であるとは考えていません。

例えば、なごやの将来像について質問する場合、私たち議員と市当局が本市の将来像をどのように描くのかについて議論するのであり、他都市との比較は話題になりません。先進的な都市の取り組みを取り入れていくという姿勢が必要な場合もありますが、それを一律に点数化することになれば、他都市の実例を紹介し、それを真似する施策を提案する議員のほうが、上位にランク付けされてしまうという事態も生じかねません。

4 質問事項が施策として実現されたにも関わらず、評価の数値として反映されない点が見られるなど、市民への公表を前提とした評価としては、改善の余地があること。

5 議員活動は、本会議における質問だけでなく、市民からの相談・陳情への対応、地域の諸課題への対応、市長を始め国会や関係行政機関等に要望活動を行い施策の実現を目指すなど、多様な活動を行っており、これらを網羅した内容でなければ、正当な議員活動の評価として市民への公表に値するものとは言えません。

以上の理由から、本調査の評価手法による点数を公表することは、市民に対して、市会議員の活動に誤解と偏見を与えるものであり、本調査は現段階では公表を差し控え、各議員の活動を正しく評価するために、実施機関において、評価手法、基準などを再度検討することを求めます。

なお、公明党名古屋市会議員団といたしましては、市民の皆様がこれからも夢と希望をいただき、安心して暮らせるまちとなるよう、生命を守る施策を団員が一丸となって提案し、委員会などを含む議会・議員活動を通してその実現に努めてまいります。

2012年10月25日

名古屋市民オンブズマン
代表 新海 聡 様

民主党名古屋市議団
団長 渡 辺 房 一

議員通信簿に対する意見

先日貴団体より受け取りました議員通信簿について民主党名古屋市議団としての意見を示させていただきます。

市民の立場で議員を評価することは当然あってしかるべきだと思いますが、今回の議員通信簿は評価方法や評価基準に問題があると考えます。以下意見を述べます。

1. 個人質問をしていない議員を『失格』として扱う、つまり『議員失格』として烙印を押すような表現になっていることが問題だと思います。本会議で質問をしなくても、質問に関して同じ会派の他議員の指導や助言などを行う場合もあります。このようなことは全く考慮されないまま『失格』扱いとなってしまうことは問題だと思います。
2. 本会議の質問には時間の制約があり、貴団体が評価基準に挙げている諸点について触れない場合もあると思います。また改善点には触れず問題提起を中心にした質問になる場合もあると思います。このような質問には様々な要因があるのですが、貴団体の評価においてはこれらの諸事情が考慮されていない点に問題があると思います。
3. 議員の活動を何で評価するのかという視点から考えたとき、当然のことではありますが、本会議の質問だけではありません。地域での活動、団体からの意見聴取、調査・研究活動、委員会活動など様々なものがあります。このように考えても今回の評価は一面的であるといわざるを得ません。

議員の評価は、地域での活動、団体からの意見聴取、調査・研究活動、委員会活動など様々な観点が総合的に評価されることが必要であると考えます。そして最終的には有権者の選択である選挙によって評価されることとなります。今回の議員通信簿の評価は極めて一面的であるとともに、表現方法にも問題があると言わざるを得ません。

平成 24 年 10 月 26 日

名古屋市民オンブズマン
代表 新海 聡 様

減税日本新政会
団長 舟橋 猛

議員通信簿について（回答）

今般、平成 24 年 10 月 10 日付の表記文書を貴団体より受領致しましたが、減税日本新政会と致しましては、以下の点について疑義がありますことから、本調査への回答を差し控えさせていただきます。

1. 本会議での質疑・質問を議事録のみをもって、議員通信簿として評価することは、正しく議員を評価するものになりえない。

質疑・質問は限られた時間内にせざるを得ないことから、事前調査の内容全てを盛り込む事は物理的に無理が生じる。この点については、持ち時間制を廃止すべきという意見があるが、持ち時間制を取らないことで発生する質疑・質問の長時間化の弊害は以前より指摘されており、現段階では採用できない。

次に、質疑・質問における当局答弁の内容が、予算措置等の政策面においてどの程度反映されているか否かの観点が全く考慮されていない。答弁の中には、実現性に疑問符がつくものもあることから、議事録のみをもって評価の材料とすることは不適當である。

2. 評価基準に問題があり、本基準を用いて本会議質問を評価することは不適切である。

議長、副議長など議会の役職者について、質問を行っていないとして一律に「失格」と扱うのは問題がある。特に議長、副議長については、公平中立の立場から会議を運営する責務がある立場から議員としての発言は最小限にする必要があるとされていることから、格段の配慮がなされるべきである。

次に、基準が予算措置に偏重している点は、近年の厳しい財政状況を踏まえた行財政改革の推進と相反するものである。例えば、新規の予算措置がなされなくとも、当局に従来からの予算執行の方法等に更なる工夫を求める質問、また予算措置によらない政策の実現（民間活力の利活用等）を求める質問は、本基準に照らし合わせてどう評価されるかが不明確である。こうした点から、主観的視点が排除できない本評価は、問題が多分にあるものと考えらる。

以上

2012/10/10 議員通信簿評価基準（名古屋市民オンブズマン）

①事前・現場調査(4点)

- 0点 全くしていない
- 1点 質問に特化した事前の調査をしている（「新聞テレビニュースで見た」、「議会で質問があった」というだけでは事前の調査と評価しない）
- 2点 質問に特化した事前の調査に加え、現場の調査をしている（現場調査をしたと同視できる程度に詳細な事前調査をした場合も含む）
- 3点 2+分析、評価もしている
- 4点 2+分析、評価のやり方が予算措置まで踏み込んでいるか、それと同視できる詳細な評価を行っている。

②他都市の比較(2点)

- 0点 全くやっていない
- 1点 やっている（結果だけ）
- 2点 担当者に会っている、または、会ってなくても他都市との違いを根拠まで踏み込んで具体的に行っている

③改善案(3点)

- 0点 全く無し
- 1点 問題点を具体的にしているか、何らかの改善案を提示している（単なる要望は改善案とは評価しない）
- 2点 具体的改善案が示されている
- 3点 予算措置まで踏み込んだ改善案が示されているか、それと同視できる程度の具体性・実現可能性のある改善案が示されている

A：事前に関連資料を情報公開請求で入手するか、担当部署の職員に確認すれば足りる質問（今どうなっていますかはA）

B：当該課題（制度）の趣旨・意義、国と世論の動向、識者の指摘、市と所属会派の対応と現在までの経過等を解説し、それに質問者の抽象的私見を加え、当局の認識、所感、方針を問う質問

AB：AとBの混合したもの

C：首長を単に批判するもの（政策批判と評価できるものはCと評価しない）

昨年度は市会議長のため

質問の機会が与えられておりません。

減税日本新政会

中村孝太郎

名古屋市民オンブズマン
代表 新海 聡 様

2012年10月15日
名古屋市議員
山口 清明

議員通信簿に関する意見

皆様の意欲的な活動に心から敬意を表します。議員の活動を評価する定まった手法がないなか、質問の「質」を議員通信簿という形で測定する試みはたいへん興味深いものです。様々な角度から議員活動の評価をする取り組みが広がることは、市民のための議会づくりに必ずプラスになると私は確信しています。

そのうえで、評価基準について思うところを、私個人についての評価をふまえて、いくつか述べたいと思います。よろしくご検討ください。

第一に、みなさんの議員質問の理想(評価基準)やや画一的ではないか、という点です。政策提言ができる議会をめざすことは名古屋市議会基本条例でもうたっており、政策提言をいかに具体的に、説得力を持って行うか、はたいへん重要なポイントの一つです。しかしそれだけに価値をおくことは、議会質問の評価基準として不十分ではないでしょうか。

行政や首長の政治姿勢などをチェックすることも議会の重要な役割です。このような角度からの質問が「首長を単に批判するもの」とだけ評価されることには異議があります。

第二に、政策の実現をめざす議会質問は多くの場合、一回の質問で満額回答が出ることは少なく(いかにもヤラセのような問答もありますが)、何度も何度もいろんな角度から、質問をぶつけていくことが通常です。個人で繰り返すこともあります。会派として同じテーマに粘り強く取り組んでいくこともあります。だんだんと質問を重ねていくなかで、予算の問題をふくめた具体的な提言となっていきます。ですから一回の質問だけで評価するのはいかながなものか、と考えます。問題提起的な質問から具体的な提言へと発展させていく姿を評価してほしいと思います。

第三に、客観的な評価のための指標とは思いますが、事前調査や他都市比較について、本会議質問でとりあげたか否かだけでは評価がまちがうこともあるのではないのでしょうか。

物理的な問題として、名古屋市会は「会派性持ち時間制」というルールが押し付けられており、質問時間には会派の大小によって差がつけられています。短い持ち時間の中で調査した内容をやむなく割愛し、結論部分だけを述べるしかないこともあるのです。

また調査活動の評価は単純に数量化できません。新聞記事やネットを利用した調査といっても中身は千差万別です。膨大なデータのどこに着眼したか、が大事だと思いますが、それは評価の対象外ですよね。他都市調査は評価するが、こつこつと市民から話を聞いてきたような調査はなかなか評価対象になりにくいのではないのでしょうか。

当然、首長の政治姿勢を問うような質問は、評価が低くなると思います。よく調べた質問かどうか、は並べ立てた材料の豊富さだけではわからない部分があります。政治的価値観をぶつけあう質問とデータを駆使した質問では、質問の狙いそのものも違ってきます。

特に名古屋市会の場合、本会議では価値観や政治姿勢をただし、時間無制限の委員会質問で、予算や決算数字や他都市比較も使ってじっくり攻める、というのもよくある質問方法です。

以上を踏まえて、私の質問への評価を材料にして、もう少し具体的に述べたいと思います。評価方法への意見と、私の質問への評価に対する異議申し立てと、まぜこぜになっている点をご容赦ください。

平成 23 年 6 月の質問

- 1) 河村市長の政治責任についての質問について「首長を単に批判するもの」と言われると正直、心外です。その後の減税日本ナゴヤのあいつぐ不祥事と党首としての河村市長の無責任さを初めて正面から指摘した質問だったと自負しています。

このテーマを選択したこと自体がくだらないというのなら仕方ありませんが、その時々には市民的な関心が高い政治的なテーマを質問するのは議員として当然ではないのでしょうか。もともと、みなさんの評価基準のBをめざした質問ではないのですから、②他都市の比較や③改善案は出てきません。質問の狙いがちがうのですから。その狙いが実現できたかどうかこそ厳しく評価していただきたい。

また①事前・現地調査は、表に出ませんが、報道記事を熟読するなかで、まだどの記者も追及していない質問ポイントを発見し、質問を通して新たな事実を明らかにした、という自負があります。こういう準備は事前調査としては評価されないのでしょうか。

- 2) 中京都構想については、この時点では問題点の指摘にとどめています。これから取り組まれるはずの課題だったのですから。しかし、中京都構想のその後の迷走ぶりを見ると具体的な材料が乏しい中でも、問題の本質は指摘

できていたのではないかと考えています。こうした価値判断そのものが評価対象でないのなら、テクニク的にはみなさんの評価の通りゼロですが、それが無意味な質問を意味するのなら異議ありとなります。

- 3) 防災問題も時間の経過とともに議会全体の問題意識が深まっていった課題です。「学校屋上に避難場所を」と問題提起した最初の質問だと自負しています。その後、本会議や委員会の質問で、港区選出議員もその後につながる質問、さらに具体化する質問へとつながりました。最初に提起した！という評価はないのかなあ。他都市比較も時期的に見てあの時点では難しい、徐々に各地の取り組みが活発になってきたのです。

「電柱のNP表示の活用を」という質問もしました。市長の答弁はかみ合いませんでしたが、電柱を利用した海拔表示は、その後に他都市でも採用されており、政策として評価していただきたい先取り質問の一つと考えています。

平成 24 年 3 月の質問

- 1) 市長の歴史認識と都市外交についての質問ですが、これは前の質問とちがって C 評価でないのは改善案を示しているからでしょうか。なぜか私は市長の問題を追及する時期に質問の順番がまわってくるが多かったのですが、この種の質問は、それ自体、価値がないと考えていらっしゃるのか、うかがいたい。個人質問では誰も正面から市長の「南京発言」をとりあげなかったなかでの質問です。質問したこと自体にそれなりの価値があったと考えています。

市長の答弁でも「政府見解と私の考えは同じ」という重要な答弁を引き出したと思うのですが、こういうやりとりの全体は評価の対象にはならないのでしょうか。市民の関心に応える質問をしたと思うのですが。

そしてこの質問のための調査が、一般的な調査と片づけられるのはまことに心外です。歴史認識をめぐる質問には相当の慎重さが要求されます。市長の過去の発言や政府見解、加えて南京事件そのものについてもあらためて文献を集めるなど、それなりに事前調査をして質問できたと自負しています。現地に行くだけが価値ある調査ではありません。

市長は政府見解を認めるのなら発言を撤回せよ、というのは改善案の一つにはならないのでしょうか。

平和市長会議でも、確かにホームページをみれば誰でもわかります。問題は、政令市では名古屋だけが加盟していないという事実が市民には知られていない、議員も知らないことです。当局は知っていても恥ずかしいから当然黙っています。そのことを議会の場で市民の前に明らかにしたことに質問の

意味があると思っています。価値判断の問題になってしまいますが、調査の方法だけが評価の対象となるのはあまりにも画一的ではないでしょうか。

でも何を質問テーマに選んだか、を評価しろと言うのは困難すぎる課題というか、無理ですよ。でも、そこが言いたいのです。

- 2) 「具体的な改善案とは言えない」というのは、守山市民病院についての提案のことなのか、それとも病院の有料個室についての提案がないということなのでしょう。どちらにしてもこの部分の評価は、率直に受け止めさせていただきます。

以上、自身の質問への思い入れが強すぎるとのご指摘もあるとは存じますが、よろしくご検討ください。

名古屋市議会基本条例では第7条で、「市長等の事務の執行について監視及び評価を行い、政策立案及び政策提言に取り組む」とあります。みなさんが今回の評価で重視された「政策立案及び政策提言」と同様に、市長をはじめとする執行機関に対する「監視及び評価」も議会質問の大事なテーマなのです。この角度からの質問を一律に「首長を単に批判するもの」と捉えられては困ります。もちろん、単なる首長いじめのような質問もあります。みなさんの評価基準、議会の役割についての認識をもう少し詳しくお聞かせ願いたいと思います。

いずれにせよ、質問の内容を充実させるための技術的なポイントについて、みなさんの評価基準はたいへん参考になりました。ありがとうございます。そのうえで質問を評価するにはやはり政治的な価値判断を避けて通れないと思います。技術的な側面からだけの評価であることを強調しないとやはり問題です。

もちろん、正しい主張ならば、質問のち密さや鋭さ、説得力はいつでもよい、とは私は考えてはいません。みなさんの活動が、市民に開かれた、市民の多様な意見を正確に反映する議会づくり、議員の能力と資質向上に、ある面では大いに資するものだと私は考えています。

残念ながら、政治を抜きにした議員活動はあり得ません。どこかの市長さんのように相手を言い負かす弁論術だけに長けたような政治家＝議員にはなりたくないですね。その点をしっかり踏まえたうえで、論戦力を磨くために、いっそうの努力を重ねたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

長々とまとまらない文章になってしまいました。どうもすみません。最後になりましたが、皆様のますますのご活躍を心から祈念いたします。

名古屋市民オンブズマン
代表 弁護士 新海 聡様

名古屋市会議員 わしの恵子

前略

朝晩冷え込んできましたね。

さて、議員通信簿 一時採点を送っていただきました。少しだけ意見を述べさせていただきますと思います。よろしくお願いします。

今回、採点の対象とされた23年9月議会では、わずかな時間で3つの問題を取り上げました。

第一の市民税減税条例ですが、22年度の実績については、市民アンケート活動や訪問活動、市政懇談会のなかで、「あなたの減税額はどうでしたか？」とお聞きしながらデータを集めて質問を行いました。高すぎる国保料への怒り、東日本大震災を受けて減税よりも福祉・防災のまちづくりを願う声が多くありました。また、河村市長の減税の財源づくりのための、敬老パスの見直しをはじめ、中学校スクールランチ、2年連続して値上げストップさせた保育料の値上げなどは許せないという怒りの声。特に、「敬老パスはなくさないで」の声が強く寄せられました。そんなデータをもとに質問しました。

なお、市長の市民税減税は他都市では行っているところはないと思います。ですからこの問題では他都市の比較は対象にならないと考えます。

次に、財源の確保の提案が抽象的という評価ですが、減税財源確保の事業仕分けは、福祉切り捨てのお墨付きになるのでやめるべきという質問です。具体的な金額は、総務局の方で示しているものです。そういうやり方をやめなさいという質問なので抽象的とは思えないのですが・・・

第二の大気中の放射線量の測定についてですが、日本共産党の東京都議団が身近な場所で放射線量測定を行っていることについて調査をし、地元の西区でも測定を行い、市民に知らせ、少しでも不安を取り除こうという思いで、質問をしました。他都市の調査に該当しないでしょうか？

なお、代表質問はしていても、個人質問をしていない人は、「失格」ということですが、「失格」という評価に疑問を感じます。私は、23年度9月議会で個人質問を行ったので失格ということにはなりませんでしたが、それは市民税減税条例案ということもあり、例外的に行ったものであります。

私ども日本共産党市議団（5人）は、団長が、予算議会や市長の改選時、所信表明などの政治姿勢などに対して、日本共産党の代表質問を行うことを市議団で決めて実践しています。それは役割分担でもあり、任務でもあります。代表も個人も質問時間が会派の持ち時間制となっているため、そうならざるを得ないのです。もし、私が、代表も個人もやろうとすると、他の人の個人質問の時間がさらに不十分になってしまいます。いまでも質問文章は、1分1秒でも短くしなければならないと、苦勞をしながら行っています。

もちろん、議会運営について、日本共産党は、会派の持ち時間制には反対していますが、多数決ということで持ち時間制になっています。昨年の出直し市議選で、日本共産党は5議席になり、これまでの8議席と比較しても、ますます短い質問時間になってしまいました。限られた時間内で、市民要求を実現させるための代表・個人質問は、他都市での調査をしても文章として質問に入れられないこともあり、具体的な数字を省かざるを得ないことも多々あります。いずれにしても質問の一字一句は、日本共産党市議団として、よく相談して練り上げる努力をした結果です。もちろん不十分な点はたくさんあると承知していますので、今後ともご指導、ご意見をいただければと願うものです。

日本共産党は、市民が主人公の立場つらぬき、だれもが安心して暮らせる名古屋をつくるために全力尽くす決意です。率直に意見を述べさせていただきましたが、今後ともご指導をどうかよろしくお願いします。

最後になりましたが、皆様方のますますのご活躍を心より祈念いたします。

草々

草々

名古屋市民オンブズマン様

日頃は、大変お世話になっております。この度は、通信簿にて客観的に自分自身を顧みる機会を頂き、心より感謝申し上げます。

無我夢中の1年半があつという間に過ぎてしまい、どなたの指導も受けられないまま、ただただ自分自身の政策への強い思い・信念にて、今日まで取り組んでまいりました。どんなに熱い思いを語っても、どの局の職員もまったく相手にしてくれないどころか、拒否の一点張りで、「もう結構です。ゼロ回答でも結構です!」と言って、データも自分一人でコツコツ調べ尽くし、原稿を一人で書いて、突き出す状態から始め、原稿を手にした職員は、一字一句データに間違いがないかをチェックし、自分たちが調べきれないものは「議員、これはどこから引用されましたか?」と慌てて尋ねて来たり、「私たちも知らないことを、よく勉強されましたね」とか「●●教授とはどのようなご関係ですか?」など、段々態度が変わっていきました。直接、お会いできるセミナーがあれば、北海道から沖縄まで追いかけて、直接、生の情報やご意見、現在の進捗状況等を伺いに、睡眠時間を削ってでも、個人質問前日でもどこにでも出かけて行きました。そのおかげで、それぞれの第一人の先生方からも、良い情報が頂け、河村市長への応援メッセージを預かって来ることなどもしばしばありました。職員より良い答弁を頂いたことも何度かあったのですが、「局長が、減税議員にこんな答弁はできないと言っていますので、本当に申し訳ありません」ということで、答弁の用紙が差し替えになったこともありました。「うさみ議員、この部分だけ、どうしても外してほしい」とお願いされて外したところ、他会派の議員がその部分をやり、新聞にでかでか掲載されたり、それに懲りて私も、うんと言わなければ、本会議開始5分前まで、しつこく「ここだけは外してほしい」となばられたり、「減税さんでなければ、良い回答ができるんですが・・・」とか。この9月議会で提案した「生活保護の医療扶助の適正化」においては、絶対に取り組むべきお薬手帳の確認作業ですらできないのと言われ、議場で情けなくて泣けてきました。その涙のせいか「必ず、うさみ議員のおっしゃったことはやりますので、本当に本日は申し訳ありませんでした」と課長が、本会議終了後に、その足で控室に謝りに来られ、私の方がびっくりしてしまいました。と、語れば、私の場合は、ひどいエピソードばかりが尽きません。インターネット中継では、ヤジが消されていますが、前回は、私自身の声もかき消されるほどのヤジでした。しかしながら、庶民感覚を忘れず、まっすぐな気持ちで市民のために、一心不乱、全身全霊を込めて個人質問に毎回取り組ませて頂いています。未熟な自分を棚に上げ、大変僭越ではございますが、一言、弁明をさせて頂きたく、ご連絡させて頂きました。何卒、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。このような機会を頂きましたことに重ねて感謝申し上げます。

今後とも、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年10月26日

名古屋市議員

うさみいく愛

「介護保険制度をめぐる現状と課題について」 A → B

① 事前・現場調査 1点 → 3点

質問に特化した事前調査に加え、現場の調査をしている。名古屋市の取組みを分析し、それでは現場も市民も限界のため、改善策も提案しているため。

② 0点 → 2点

厚労省の課長に会い、直接直談判を行なった。その上でモデル先の調査を行い、発言したため、

③ 0点 → 3点

名古屋市は、厚労省のモデル実施にすら参加をしないで、まったく名古屋市は手を付けず、国の動きと他都市の動向を客観視して、様子見をしているつもりでいたが、「本市での事業展開の方向性を見極めてまいりたい」という答弁を引き出したため。

「新斎場の津波避難ビルとしての活用について」 → B

① 1点 → 2点

火葬件数の調査に加え、斎場建設がこの場所に誘致された経緯や市民の反対運動についてなどの経緯、市民の生の声、意見の聴き取り調査なども綿密に行った。

②

③ 1点 → 3点

斎場の津波避難ビル化が実施された。また、隣接する「地域交流センター」についても、当初の2階建てから4階建ての高さまで建物の高さも高くするなど、両方とも、大幅な設計の見直し及び変更がなされ、参列者や住民が夜間でも災害時には避難できるように屋上が整備され、外階段が設置されるなど津波避難ビルとしての機能を備え、生まれ変わった。東日本大震災後、本市が建設する初の公的施設である新斎場及び地域交流センターが津波避難ビル仕様となった。

「名古屋港伊勢湾クルーズの必要性について」 A → B

① 1点 → 2点

名古屋港管理組合発行の「わたしたちの名古屋港」という副教材を名古屋市中の456年生が使用して授業で学んでいる現場調査や学校の先生がその社会見学の必要性を望んでいるか等を校長を始め、市内の先生方に聴き取り調査を行った為。

②

③ 0点 → 2点

机上論で終わらせるのではなく、生の名古屋港の経済・貿易の現場を見せるべきと提案。将来の職業選択のきっかけとなる可能性も秘めていると提案。

「本市における放射性物質に対する危機管理対策について」 → AB

① 0点 → 2点

市長が訪問した「もんじゅ」や「関西美浜原発」の状況調査の実施、放射能の第一人者である武田邦彦教授、中部電力浜岡原発担当者への聴き取り調査、福島第一原発事故の経緯や現状調査、岐阜県の地域

防災計画への取組み調査、市民の原発事故に対する聴き取り調査等を実施。

② 0点 → 2点

岐阜県が放射性物質に対するハザードマップの作成、地域防災計画への導入を実施しており、それを根拠に消防局を説得。

③ 1点 → 3点

放射性物質に対する危機管理体制の確立や正確な情報開示、防災マニュアルの作成等、名古屋市地域防災計画に盛り込まれ実施されました。

「自然エネルギーの普及拡大に向けた本市の考え方について」 → B

① 0点 → 2点

名古屋港の風力発電現場視察及び収益など現状調査、東京都の補助金導入の試算など東京都庁自然エネルギー担当課からの情報提供を頂き調査を実施。太陽熱温水器知立の会社（ほぼ独占事業者）による経費等の試算調査、住宅展示場による市民の補助金希望者への聴き取り調査、応募実態調査。市民の方ですでに導入されている方への聞き取り調査の実施。

② 0点 → 2点

東京都電力買取や設備補助金記者発表前の個人質問日だったため、東京都の引用はしないことを前提で情報提供を頂きました。ドイツはすぐに脱原発宣言をし、街の景観・街づくりから変化。中国は、マンションのベランダ一面を利用し、太陽熱パネルを導入している実施事例あり。

③ 1点 → 3点

東日本大震災時、被災地にて大変温かいお湯が喜ばれ太陽温水器が安価で重宝された事実の提案に対して当局もメリットを認め、太陽光・太陽熱共に設置補助枠の拡大や普及啓発が実施された。

「中途視覚障害の原因となる疾病予防のための眼科検診の重要性について」 B

① 0点 → 2点

名古屋市眼科医師会会長からの聴き取り及び現場調査、緑内障の世界的権威の岩瀬愛子先生の研究データ、衆議院議員吉田恒彦議員（医師）の研究データ及び国会での緑内障への取組み調査。

② 0点 → 2点

杉並区など東京都の先進事例の実施検査項目、費用、回数、年齢、補助額等の調査及び比較

③ 1点 → 2点

介護の現場でも、中途視覚障害（失明）は絶望するほど、心理的にもショックが大きく、介助も心理学及び的確な言葉での指示ができる等、特別な知識を持った介護福祉士等ハイレベルな介助が必要となることから検診の必要性を提案。市長もぎりぎりまで導入を悩んだが政治的判断でロタウイルスワクチンの導入に踏み切ったため、見送られたが、その必要性は必至。

「きめ細かな防災対策について」 B

① 1点 → 2点

耐震化率・無料耐震診断の実施状況調査、講習会の実施状況調査、補助金の活用状況の調査、シルバー

人材センターの家具固定実施状況調査、家具固定の実施状況の市民への聞き取り調査等を実施。

② 0点 → 2点

神戸市の「家具固定専門員」の導入の経緯及び実施状況調査、静岡県家具固定率の把握による減災への取組み状況の調査を実施。防災の第一人者福和教授からのコメント引出し。

③ 1点 → 3点

助成金の補助枠が拡大された。津波による被害しか、職員や市民の頭になく発想すらできなかったが、避難時の足かせとなる家具転倒防止のための家具固定の重要性が認識され、名古屋市地域防災計画に盛り込まれ、広報なごやや啓発チラシの赤字で掲載され、防災の日の名古屋市防災訓練時においても市長メッセージの第一番に取り上げられる最重要項目となった。「消防所が火を消しに行かないで。家具固定に行くんですか？」などと言われ、質問時にはどこの局も受け入れを拒否していましたが、今では常識となりました。

「名古屋港の海上からの社会見学の実施について」 B

① 1点 → 2点

名古屋港視察、セントレア空港・中部電力・新日鉄現場視察を実施。観光バス・公共交通機関を利用した場合等、実施するために必要な経費の試算。社会見学コースの検討のための現場視察。船会社の聴き取り調査。海運会社や貨物荷役現場への聴き取り調査。

② 1点 → 2点

東京都の実施状況、名古屋港ポートビルや関連施設の無料利用の協力依頼調査の実施。

③ 0点 → 3点

24年度予算が計上され、今年9月より市内の小学4年生に実施開始。応募校数が多く、抽選となるほどの盛況ぶりで、児童・保護者・学校から大変ご好評を頂いています。

「地域を支える市民ボランティアの育成について」 → B

① 0点 → 3点

行政評価により鯉城学園に対して「廃止」の判定がなされたため、市民の聞き取り調査・現場視察を実施。介護保険制度の第一人者白澤政和教授より「河村さんが提案されている寄付文化が根付けば、自分が応援したいNPOなどを選ぶことができ、必要とされるサービスがボランティアで回せることになり、日本の少子高齢化対策の大きな担い手となるので期待している。河村さんには、ぜひ頑張って頂き、名古屋がその先駆者として全国に見本を示して、リードして行って欲しい」との激励のメッセージを河村市長に預かって来たため、本会議場にて披露しました。

② 1点 → 2点

刈谷市「育児ママ訪問サポーター事業」神戸市「家具固定耐震サポーター」「買い物支援サポーター」「児童虐待サポーター」「育爺」姫路市「認知所サポーター」等

③ 1点 → 3点

認知症サポーターを育成しても、講習会を受けて、そのまま名簿も記録も作らず、その場限りの現状、他都市では、認知症サポーターの活躍の場を作り、家族のレスパイトケアに貢献している。ボランティアの活躍の場を提供するのも本市の責任であることを提案。具体的な事例を挙げ、いかにボランティアとい

えども、昨今の複雑化する社会情勢や多様化する市民のニーズに対応するためには、専門的な知識を持ったボランティアが必要であること、講習会など行いボランティアの育成養成機関が必要であること、鯉城学園にそのリーダーとなる人を養成する機能を持たせるべきなどの提案を行い、市長が「いま、うさみさんが言ったように、『専門的な知識を持ったボランティア』という、ここが相当のキーワードになると思いますよ、やっぱり専門的な知識を持っていないといかぬ。だから講習会なんかもやりながら・・・」と市長も相当食らいついて下さり、市長が一番に取り組んでいらっしゃる児童虐待のボランティアのヒントになったと聞いています。

「行政財産の活用と市民サービス向上の視点で見る区役所駐車場の有効活用について」 B

① 0点 → 2点

市の職員の対応状況現場調査。市民の声の聴き取り調査、16区及び支所の区役所駐車場の立地状況並びに利用実態現場調査。

② 0点 → 2点

神戸市など、民間駐車場会社に貸し出し、利益が上がっている事例調査実施。

③ 1点 → 3点

実施に「早速モデル実施に取り組めます」との答弁をもらっていたにもかかわらず、直前に答弁差し替えになった。実際、過去に財政局が有料での提案をし、当時は市民感情を考慮し否決された経緯があるとのことだったが、昨今のモラルハザードとしての意味合いからも、その必要性が望まれていたとのことと担当職員から大変喜ばれた提案でした。「中川区の夜間救急医療センター」でモデル実施が導入されたと聞いています。

「『老人クラブ』の愛称募集について」 B

① 0点 → 2点

市民の声の聞き取り調査実施。老人クラブ会長等役員の考え方聴き取り調査。加入者数の減少等の実態調査。老人クラブの実態調査、老人クラブが果たす役割の重要性調査

② 0点 → 2点

名称が嫌で加入者が減ったことから愛知県は愛称を募集し、『いきいきクラブ』と名付けた事例。全国的に加入者数、加入団体の減少が社会問題化していること。

③ 1点 → 2点

老人クラブの活動を市民の皆様知って頂き、活動を活発にするためにも、わくわくするような新しい愛称を幅広い年代の市民の皆様から公募するべきと提案。市長も日頃から「老人会青年部」と自身がいろいろ所で発言されているエピソードを話されて、「早速名古屋市の老人クラブの会合で話し合ってもらいますわ」とのご答弁を頂きました。老人クラブの会長様も直接聴き取り調査に伺った際、「そんな話がありますか。大いに私らの活動を宣伝してもらわないかねえ」と喜んでおられました。

2012年12月20日

名古屋市民オンブズマン
代表 新海 聡 様

名古屋市議員
山口 清明

このたびは、提出した「意見」について、ていねいなコメントをいただき、ありがとうございました。私の稚拙な質問についてももしっかりお読みいただいたことに対して、まず心からお礼を申し上げます。

ランキングづくりにあたっては、一定の評価基準を設けなければいけないことは当然です。またその際、今回のような形で議員が当事者として意見を述べる機会を設けていただいたことは重要なことだと思います。

私は、みなさま方の新しい試みについては、おおいに期待しています。設定された評価基準について見解の相違があることは、残念ながら止むを得ないことです。最後は有権者の審判を仰ぐわけですが、議員の活動状況を市民が判断する材料の一つとして活用させていただきたいとは思っています。みなさまの「理想の質問」のイメージや基準がどれだけ市民感覚にあっているか、引き続き検討を加えていっていただきたいと希望します。

私としては、いただいたコメントと評価も参考にさせていただき、より良い質問となるように精進を重ねていきたいと思えます。質問について、会派内の意見や傍聴した市民の意見は聞くことがあっても、第三者からの意見をうかがう機会はあまりないのが現状です。独りよがりな議員活動にならないよう大いに活用させていただきたいと考えています。

ひとつだけ、希望を言わせていただきますと、ランキングを公表する際に、議員から、評価のポイントについて「こんな意見が寄せられている」と紹介していただければ幸いです。評価基準づくりの材料の一つにでもなればありがたい。多面的な角度からの検証作業の一助になれば幸いです。

そして、ぜひ単発の企画に終わらせず、議員の成長や堕落ぶりまで評価できるような継続的な取り組みを期待しています。